

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 梅島 清香

- I 開催年月日 令和 8 年 6 月 19 日（金）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 48 分
III 出席委員等〔出席委員〕◎梅島 清香 ○高岡 宏和 山野井拓也
高木 敬介 中川加津代 上田 武
本田 利麻 水口 清志
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 曾田 康司
〔副議長〕 中村 清志
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
（福島市民病院長が公務のため欠席）
〔委員外議員〕 水越 進一 塚本 政彦 山上 尊士
〔事務局職員〕 松本 武司 竹田 裕子 越田 裕喜
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

- 1 福祉保健部長から、令和 8 年 6 月 3 日に職員が児童手当受給者の個人情報が含まれた USB を紛失したことに関する陳謝があった。今後、個人情報の厳重な取扱いの徹底と再発防止に努めるとの説明があった。

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

2 付託議案について

- 議案第 47 号 令和 8 年度高岡市一般会計補正予算（第 1 号）のうち本委員会所管分
議案第 48 号 令和 8 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 1 号）
議案第 52 号 高岡市家庭的保育事業等又は乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び高岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
議案第 53 号 高岡市特定教育・保育施設、特定地域型保育事業及び特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第 54 号 高岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第 55 号 高岡市印鑑条例の一部を改正する条例
議案第 56 号 高岡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

議案第 58 号 工事請負契約の締結について
(高岡市消防本部・高岡消防署庁舎解体工事)

議案第 62 号 財産の取得について (消防ポンプ自動車)
及び

議案第 63 号 財産の取得について (災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車)

以上、予算議案 2 件、条例議案 5 件及びその他議案 3 件の計 10 件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

3 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[生活環境文化部]

。地域おこし協力隊 (地域支援サポーター) について

〈 委員から、次のとおり質疑があった。 〉

【地域おこし協力隊の地域支援サポーターについて】

○ 今回の地域おこし協力隊は、国吉に重点的に配置ということだった。この地域選択の理由は。

△ 国吉地域は、2 年前より、多機能地域自治の取組を進めている。地元から、地域おこし協力隊の制度を活用しながら取組を進めたいとの意向があり、募集を開始して、今回の決定に至った。

○ 現在、高岡市ではこの地域おこし協力隊は何名おり、何地域に配属されているのか。

△ 6 名の地域おこし協力隊の隊員がいる。地域特化したものではなく、観光から交通、伝統工芸、伝統産業の振興など幅広いジャンルで活動を展開している。

[市民病院]

。令和 7 年度高岡市高岡市民病院事業会計決算の概要

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【令和 7 年度高岡市高岡市民病院事業会計決算の概要】

○ 入院の延べ患者数について、7 年度は 6 年度に対して増えており、良い傾向であると捉えている。コロナ禍で補助金がなくなった後、全国的に赤字に陥った病院が多い中で、この延べ患者数は重要なポイントだと考えている。どんなことに取組んで増えたのかが重要であるため、その点を確認したい。

- △ 主な要因として、6年度に精神病棟の個室化を行い、個室利用というニーズに応えることができた結果、精神科の患者の方が増えたことがある。また、整形外科や外科などは、開業医訪問等を通じて、開業医に診療科の医療の特徴を理解していただいたことで、紹介患者が増加し、延べ患者数も増加したものと考えている。
- 非常に高度な取組であり評価できることだと捉えている。(意見)
- 今回、経常損益8.1億円の計上になっている。8年3月定例会でも述べたが、8年度予算ベースでは、約12億円ほどの損失を見込んでいる。決算として8.1億円の損失が出ている現状に対する受け止めは。
- △ 7年度は、開業医訪問などに注力した結果、紹介患者が増加し、入院患者が増加しているほか、リハビリ職員の増員により、集中治療室における入院早期からのリハビリ実施、手術前後や回復期における患者への口腔ケアの推進など、医療の質の向上を図りながら、増収につながるような取組を進めてきた。そのことで、医業収益は6年度決算に比べて増加している。また、省エネや、医薬品購入費削減業務の委託、一部医療機器の保守方法の見直しなど、支出の抑制にも努めてきた。そうした取組と、国・県の補助金や一般会計からの繰入れにより経営しているが、それを上回る経費や給与費の上昇などにより、最終的には、8.1億円の赤字となった。今後も、厳しい経営が予想されるが、各診療科や、各部署における改善活動のほか、ベッドコントロールや診療報酬対策などに関する多職種の経営改善のチームなども設置しており、こうした活動を推進していくことで経営改善につなげ、市民の方々の命を守る拠点としての役割を果たしていきたい。
- 病床利用率が改善したことは非常に良い傾向と考えるが、その理由は。
- △ 先ほどの繰り返しになるが、精神病棟を6年度に改修し、個室増加を図るなど、患者や地域の医療機関のニーズに応える取組を進めたことが要因と考えている。また、外科、整形外科などでは、紹介患者数が増えており、当院としても外科や整形外科の取組、また、その2科にとどまらず、様々な診療科の特徴を開業医訪問等で紹介し、患者を紹介していただく取組をしている。また、市民の方々に対し、市民病院の医療の特徴について、ホームページや報道機関等を通じて紹介する取組を進めている。これらの結果として、延べ入院患者数が増加したものと考えている。
- 鋭意努力しているということで、引き続きお願いしたい。(要望)
- 先般、厚生連高岡病院が急性期に特化していくという報道があった。市長と4病院であり方検討をしていると思うが、他の病院の動きなどの現状を踏まえて、改めて市民病院が市民にとってどのような立ち位置の病院であればいいと、考えているのか。
- △ 市民病院は、急性期病院として地域の基幹病院としての役割を担っており、不採算ではあるが、救急医療、精神、感染症災害医療といった、地域住民の命と健康を守ることに必要不可欠な政策的医療を担っている。厚生連が、急性期医療に特化する中で、現状でも急性期を脱した患者を厚生連から市民病院や他の公的病院に受け入れるという流れはできている。市民病院としては、自治体病院でなければできない政策的医療の役割を堅持していくとともに、これから高齢化が進展していく中での医療需要の変化にも対応しながら、他の医療機関、公的病院とも連携しつつ、持

続可能な地域医療の構築に向けて、その一翼を担うよう取り組んでいく。

- 高岡医療圏における市内の動きが見えてくる中、市民病院は、リハビリや医療の質を向上していくように動いている。現場の中で見えてきている、それぞれの動きについて、県の地域圏医療構想を含めながら、役割分担を明確にし、市民病院の立ち位置を確立していただきたい（要望）。

4 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

5 その他

- 。本委員会の行政視察について

令和8年7月21日（火）から22日（水）に実施することが報告された。

- 。次回の本委員会の開催について

令和8年7月27日（月）午後1時に開催することが報告された。

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【住民税非課税世帯への物価高騰対策について】

- ギフトカードの使い方や仕組みについて、店舗や利用者から混乱の声が届いている。本市の対象世帯数は。
 - △ 本事業は、令和7年度住民税の課税情報をもとに、市内の住民税非課税世帯と、均等割のみの課税世帯を併せて約1万9,000世帯を対象としている。
- 現金給付ではなくギフトカード方式を採用した理由とその効果は。
 - △ 本事業の実施にあたり、先の8年3月議会にて答弁した通り、現金及びおこめ券、ギフトカードといった給付の手法について、各メリット、デメリットを確認し、全国での事例等を参考にしながら検証を行ってきた。その結果、ギフトカードの配布が迅速かつ確実に届けるための最良の手法であるとの結論に至ったものである。効果としては3月から準備を行い、4月下旬から順次配布し、5月末現在においては、対象世帯の約8割に届けることができた。物価高騰の影響を受けやすい低所得世帯に対し、迅速に対応できていると捉えている。
- 利用店舗や利用方法について、丁寧な周知が必要では。
 - △ ギフトカードに同封した添書等において、利用店舗や利用方法について問い合わせ窓口を周知するとともに、市役所への問い合わせの際にもご案内している。今後は市ホームページや、市民と市政等で使い方等を紹介するなど、丁寧で分かりやすい周知に努めていきたい。なお、本日から市ホームページにおいて、使い方の一部を紹介している。
- この件については、事前に当局担当者ともすり合わせをした。私も実際の現物は見てはいないが、このギフトカードはクレジットカードのようなもので、残金がダ

イレクトに利用者に分かりづらく、店舗でも利用方法を把握していないなど、トラブルもあると聞いている。議論によってギフトカードが選ばれたとのことだが、利用者の視点というよりは、業務効率が優先されたのではという点を疑問に思っている。今後、物価高騰対策以外にも、様々な補正が出てくるかと思うが、限りなく利用者目線で、こういった形が一番良いのか、後々の混乱をできるだけ避けるような改善を図っていただきたい。(要望)

△ 早急にという国の考え方もあり、様々なパターンを検討した結果、ギフト券を選んだ。利用者の使い方については、特に高齢者の方に分かりづらい点もあるかと思うので、今後は、問い合わせダイヤルや市の窓口で直接聞いていただくなどの対応に努めていきたい。また、利用期限が 12 月末となっているため、秋頃の市民と市政に、使い方や、使い忘れがないよう周知していきたい。利用者の目線に立つことを第一に考えて取り組んでいきたい。

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（27名）

生活環境文化部長	村 上 彰	市民病院長	福 島 亘
生活環境文化部次長 市民生活課長	中 保 哲 憲	市民病院事務局長	長 谷 川 聡
環境政策課長	割 田 一 郎	総務課長	塩 谷 慎 久
脱炭素推進課長	中 川 正 人	医事課長	山 本 明 宏
地域課長	長 井 剛 志		
文化国際課長	吉 本 恭 子	消防長	有 澤 智 文
男女平等・共同参画課長	徳 市 直 之	消防本部次長	布 橋 隆 男
市民課長	窪 田 真 寿 美	消防本部参事 通信指令課長	沙 魚 川 文 春
		総務課長	田 中 秀 和
福祉保健部長	新 田 裕 子	予防課長	蔭 浦 幸 雄
福祉保健部次長 こども家庭センター長	森 川 朋 子	警防課長	佐 野 吉 英
福祉保健部参事	関 原 総 臣		
社会福祉課長	今 方 順 哉		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	竹 内 文 雄		
長寿福祉課長	塩 谷 宜 子		
保険年金課長	水 野 篤 美		
健康増進課長	島 田 輝		